

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

平成27年9月のきごころ通信 (先月の話題)



バスの路上待機 常態化 大阪、市有地活用を検討

2014年に大阪府内を訪れた外国人客は、376万人と前年比44%増えました。
観光バスの急増で大阪城公園周辺などではバスの路上待機が常態化しています。大阪城公園バス駐車場の4~6月の利用台数は前年同期比で4割増えました。

(2015年8月1日 日本経済新聞記事から抜粋)



腸内細菌で体が変わる？

腸内には全身の細胞よりもはるかに多い数の細菌が住み、増殖を繰り返しています。「腸内細菌叢」と呼ぶ、この集まりが下痢や便秘などの便通異常だけでなく、全身の健康状態や病気にまで関係することが最近の研究で明らかになってきました。

病気の人に健康な人の腸内細菌を移植する治療法も登場し、注目されています。

☆悪化する主な原因

・高脂肪、食物繊維不足などの偏食。暴飲暴食。薬（抗菌剤など）。細菌感染。加齢。ストレス、過労。

⇒ 腸内細菌叢のバランスが悪くなる ⇒ 便秘や下痢になる

☆改善するには

・乳酸菌やビフィズス菌など体に良い働きをする菌を取る。

ヨーグルトやキムチ、漬物、納豆、味噌などの発酵食品。

・善玉菌のエサになる食品をとる

オリゴ糖。食物繊維（リンゴ、バナナ、海藻、大麦。豆類、ゴボウ、イモ、穀類など）

☆改善すると便に変化が

・定期的に出るようになる。黄色っぽくなる。バナナ状になる。臭いが変わる。

(2015年8月1日 日本経済新聞記事から抜粋)



さされるとかゆーい蚊 どこからくるの？

水たまりに卵を産んで増えるんだよ

日本には112種類の蚊がいますが、血を吸う蚊は半分もいません。夏に人をさすのは、主にヒトスジシマカとアカイエカです。ヒトスジシマカは「やぶ蚊」と呼ばれていて、木や草むらに多くいます。アカイエカは夜に活発に動いて家に入ってきます。

蚊は草や木で休んでいるだけで、水たまりに卵を産み付けて増えています。ヒトスジシマカは少しの水があれば十分です。アカイエカはやや汚い水を好みます。水に産み付けた卵は2~3日で孵化してボウフラと呼ばれる幼虫になります。成虫は1か月くらい生きます。

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

蚊は、動物が呼吸した時に出す二酸化炭素などをたどって動物に近づきます。

週に1回くらい、植木鉢の受け皿などにたまった水を捨てるようにすれば、ボウフラは死にます。(2015年8月1日 日本経済新聞記事から抜粋)



建設現場、スーツで楽々 — 竹中工務店

ベンチャーと組む 人手不足に対応

竹中工務店は、作業者の動きを補助するアシストスーツを建設現場に導入します。まず、建物の耐震補強工事で使います。負担が3割ほど軽減できたといいます。

大林組もサーバードインと組んで本格導入に向け検討を進めています。

(2015年8月2日 日本経済新聞記事から抜粋)



大和小田急建設 フジタと統合へ 大和ハウス、10月に

大和ハウス工業は、完全子会社のゼネコン、フジタと大和小田急建設を10月1日付けで合併すると発表しました。フジタが存続会社となります。統合会社の社名はフジタ。

(2015年8月5日 日本経済新聞記事から抜粋)



社員向け住宅 最短1日で施工 組み立て式発売

住宅メーカーのアクト(堺市)は、ビジネスホテル仕様の組み立て式木造住宅「ロッジホテル」を開発しました。工場パネル部品を組み立て、完成した状態で運搬して現地に据え付けるため、最短1日で施工できます。建設業の現場作業員や製造業の泊まり勤務社員向けの住宅として売り込みます。本体価格は598万円(税・運賃など除く)。年間120棟の販売を目指します。(2015年8月8日 日本経済新聞記事から抜粋)



体に良い食品の正しい選び方 「保健機能」3つの表示を知ろう

グラフや識者の推薦・・・うのみにしない

健康食品ってどんなもの？

- ・特別用途食品(低たんぱく質食品、妊産婦用の粉乳など)
- ・保健機能食品(健康への影響を表示できる)

特定保健用食品(トクホ)・栄養機能食品(ビタミンやミネラル)・機能性表示食品

良くない体験は表に出ない

健康食品の広告を見る時の主なポイント

- ・うたい文句を自分なりに解釈していませんか？
- ・「自然」「天然」だから安心？
- ・「〇%オフ」などお得感に流されていませんか？
- ・利用者の体験談があれば大丈夫？

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

- ・権威者の推薦に安心していませんか？
 - ・メリットと注意事項、両方書いてありますか？
 - ・研究成果をうのみにしていませんか？
- (2015年8月8日 日本経済新聞記事から抜粋)



愛犬 屋外で散歩ゼロ 40.8%

(2014年、4年で34.2%増)

- ・7歳以上の高齢犬が53.4% 平均寿命は14.17歳
- ・年代別飼育率、50代が最多20% ・高級ドッグフード市場431億円

飼い犬にかかる年間平均支出 359,151円

治療費80,912円、エサ47,983円、トリミング(美容・散髪)など42,740円、しつけ料40,614円、ペット保険料38,052円、その他

(ペットフード協会、アニコム損害保険、富士経済調べ)

(2015年8月10日 日本経済新聞記事から抜粋)



街角景気に猛暑効果 — 7月、3か月ぶりに改善

エアコン・衣料品好調

猛暑が街角景気の改善に一役買っています。7月の景気ウォッチャー調査は、街角の景気実感を示す現状判断指数が51.6と前月より0.6ポイント上昇しました。上昇は3か月ぶり。エアコンや衣料品の販売が好調でした。

(2015年8月11日 日本経済新聞記事から抜粋)



近畿景気「回復」据え置き — 日銀、8月

日銀大阪支店は8月の近畿地域金融経済概況で、近畿の景気は「回復している」という全体判断を5か月連続で据え置きました。

住宅投資の判断を「下げ止まっている」に上方修正しました。公共投資も「増加している」に引き上げました。上方修正は、住宅投資が2013年8月以来2年ぶり、公共投資は2014年9月以来11か月ぶり。

(2015年8月11日 日本経済新聞記事から抜粋)



企業の大阪流出止まらず 転出超過 10年で900社

民間調べ 首都圏などに

大阪府から企業の流出が続いています。2005年～2014年の間に転出入した企業を調べたところ、901社の転出超過になったことがわかりました。転出超過の数は東京都に次ぎ全国で2番目に多いようです。この10年で大阪から転出した企業は2424社

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

で、転入は1523社。転出先は兵庫県（843社）で最も多く、東京（358社）、奈良県（259社）と続いています。業種別ではサービス業・卸売業が半数を占めます。近畿2府4県では累計で478社の転出超過です。（2015年8月13日 日本経済新聞記事）



子どもの夏休み宿題 「手伝ったことある」65%

父母1000人調査、「自由研究に苦労」最多

日本能率協会が小学生の親に「夏休みに宿題を手伝ったことがあるか」を問うと、65.4%が「ある」と答えました。子どもが苦労して取り組んでいた宿題を複数回答で問うと「自由研究」（69.9%）が最多。

（2015年8月13日 日本経済新聞記事から抜粋）



給食費 未納なら天引き 児童手当から、政府・自民検討

政府・自民党は、公立小中学校の給食費について、未納があった場合に保護者の申し出がなくても児童手当から強制的に天引きする仕組みを検討します。学校給食費は月4千～5千円程度。公立小中学校約29,000校のうち、調査した583校の約半数で未納者がいました。生徒数で見れば約1%。

（2015年8月18日 日本経済新聞記事から抜粋）



建設費 上昇分を補償 損保各社、資材高に対応

損害保険各社は、工事中の住宅やマンション、公共施設などが事故や災害に遭い、建設会社が資材を再調達して工事費が膨らんだ場合に、費用の増額分を一部補償する保険を相次いで投入・拡充しています。（2015年8月18日 日本経済新聞記事から抜粋）



床材など製品8割刷新 大建工業 バリアフリー対応

大建工業は、10月にドアや床材など全製品の8割を刷新すると発表しました。

高齢者向けの新築住宅に焦点を合わせたバリアフリー対応の製品群を提案します。施工しやすさにも配慮した製品も増やします。10万点を刷新。業界シェア3割を持つ床材ではシート素材の新製品を投入します。（2015年8月18日 日本経済新聞記事から抜粋）



ものづくりの魅力肌で — ミニ住宅造りや紙すきイベント

親子ら千人が体験 大正区

「大正ものづくりフェスタ」が大正区役所で開かれました。ミニ木造住宅造りや紙すき体験などが行われ、親子連れなど約千人の来場者でにぎわいました。

8月8日に開かれ、親子連れ19組が、木材を使ってのミニ住宅を1時間半ほどで組み立てました。地元の建築業者らでつくる「おおさか木の家づくり隊」が指導し、子供たちが

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

家づくりの魅力を肌で感じていました。(2015年8月18日 大阪日日新聞記事より抜粋)



住宅ローン持ち直し — 4～6月、新規貸出額10%増

消費増税の影響一巡 地銀・ネット銀が伸ばす

低金利ローンで攻勢 ネット銀、口座数1300万に拡大

銀行の住宅ローン融資に持ち直しの兆しが出てきました。4～6月の新規貸出額は、前年同期比10%増の3兆691億円と、5四半期ぶりに前年同期を上回りました。

昨年4月の消費増税に伴う住宅需要の落ち込みが一巡しました。

(2015年8月18日 日本経済新聞記事から抜粋)



大成建設の時価総額 一時1兆円の大台に 24年ぶり

大成建設の時価総額が、一時1兆円の大台に乗りました。1兆円を超えるのは1991年6月以来、約24年ぶり。ゼネコン株全体でも1兆円超えは1996年10月の鹿島依頼。(2015年8月19日 日本経済新聞記事から抜粋)



木材 住宅向け、6月以降回復 (住友林業 専務執行役員談)

「プレカット工場の稼働率は、6月には前年実績を上回る工場が増えている。」「6月以降、木材を使った建材や、ガラスやタイルといった窯業建材の荷動きが回復。水回り部材も7月出荷は前年同月を上回る。」「2017年4月の消費増税の駆け込み需要は、前年の1～2月から出てくる。プレカットの動きは、前年の3～4月から活発に。」「住宅展示場では来場者が増えている。住友林業では、7月は前年同月比2%増。富裕層向けが好調。建物が6000万円から1億円といった高額物件の受注が増えている。」「消費増税後、反動減を経て、その後の住宅着工数は年間60万～70万户に減る。持ち家着工数に占める住友林業の比率は3%。」(2015年8月19日 日本経済新聞記事から抜粋)



医療費補助 「中学まで」5割超 — 市区町村が拡大

子育て世代 奪い合い

全国の地方自治体が、子供の医療費補助の対象を広げています。中学生まで助成する市区町村が2014年に930カ所と、前年から99カ所増えて初めて全体の5割超え。

子供の医療費はもともと、就学前なら2割、小学生からは3割を自己負担するのが原則。

厚生労働省が全国1742市区町村の外来医療費を調べたところ、すべての自治体が子どもの医療費に補助を出していました。

(2015年8月19日 日本経済新聞記事から抜粋)

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

白内障 手術はいつする？ 増える40代 自己判断は禁物

糖尿病で進行も 目安は「生活に困り始めたら」

☆若いうちから予防を心がけよう

- ・18歳までに一生の紫外線量の半分を浴びる。スポーツの屋外練習時は、スポーツ用サングラスなど対策を。
- ・ウォーキングなどの有酸素運動を習慣化。
- ・緑黄色野菜、ビタミンCなどの抗酸化成分を含む食材をとる。
- ・軽度の白内障が見つかった人は、眼科で処方される目薬が効くことも。

40～50歳代で治療する人が増えている

☆白内障

- ・目の中の透明なレンズ（水晶体）が濁り、視力が低下する病気。

☆主な症状

- ・かすみがかかったように景色がぼやける。
- ・明るい所がまぶしく感じる。
- ・薄暗くなると薄い字が見えにくい。
- ・視力（遠くも近くも）が低下。

☆若くして起こる白内障とは

- ・30歳代以前に起こる場合：若年性白内障。アトピー性皮膚炎などのアレルギー、目のけが、ステロイド薬の副作用、先天性の病気など。
- ・40～50歳代で起こる場合：加齢に伴う白内障が早期に進む。若いころから強い紫外線を浴びる、糖尿病などの病気が影響していると考えられる。

☆若い人が早期に気づくコツ

- ・左右で見え方が異なる：①片方が暗く見える。②色が違って見える（黄色くなるなど）。③片目で見ると、物が2重、3重に見える。

（2015年8月22日 日本経済新聞記事から抜粋）

「子供ほしくない」10%超 — 21～30歳独身男女

厚生労働省調査 「自分の時間優先」最多

厚生労働省が2013年に21～30歳の独身男女を対象に行った調査で、将来的に子供を希望しない人の割合が男女とも10%を超え、10年前に比べて増加しています。

希望する子供の数で2003年の調査では、「0人」と回答した男性は8.6%、女性は7.2%でした。2013年の調査では、男性が15.8%、女性が11.6%に増加。

希望する子供の数で、最も多かった回答は「2人」で、男性は43.0%（2003年55.1%）、女性は55.9%（同57.0%）。

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこゝろ、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

既婚の男女が希望する子供の数は、10年前は「2人」が最多でしたが、今回は「3人」が多数派となり、男性で46.2%、女性で47.4%を占めました。

(2015年8月24日 日本経済新聞記事から抜粋)

近畿の訪日消費6948億円 今年68%増 三菱UFJが試算

三菱UFJリサーチ&コンサルティングは、2015年に近畿を訪れる訪日外国人の年間消費額が前年比68%増の6948億円になるとの試算を発表しました。

2015年の訪日客数は52%増えて730万人になると予想。1～6月の消費額は前年同期比82%増の3261億円と、全国の伸び率(74%増)を上回りました。近畿ではブランド品の購入が多いことが特徴。(2015年8月27日 日本経済新聞記事から抜粋)

スポーツの秋 脱水症に注意

急な発汗 のど乾く前に補水 ビール・緑茶・コーヒーは逆効果
2時間で脱水も 塩分濃度は一定

- ・汗腺で塩分を再吸収する仕組み：①血液から汗を作る ②作った汗から塩分を再吸収
- ・汗の塩分濃度は0.2から0.3%
- ・血中の塩分濃度は1つも0.9%
- ・発汗量が少ないと・・・塩分はきちんと血中に再吸収される
- ・発汗量が多いと・・・血中への塩分の再吸収が間に合わない
- ・汗は水分を排出し、気化するときには体温を下げる働きを持つ
- ・1日(24時間)に出入りする水分は2.5リットル
- ・体温調節のために汗を利用する動物は、人間と馬など、ごくわずかな種類

(2015年8月29日 日本経済新聞記事から抜粋)

働き盛りの認知症 脳血管の病気予防を

- ・18歳以上64歳以下で起きる認知症を若年性、65歳以上は老年性。
- ・認知症は、病気の名前ではなく、様々な認知機能が低下した状態の総称。
- ・若年性は、脳梗塞など脳血管障害によるものが最多で約40%、アルツハイマー病が約25%。
- ・若年性の場合、憂鬱な気分や不安、不眠といった症状は、うつ病等ストレス関連の病気と間違われやすい。周りの人で、物忘れなどが目立つときは見守ることが大切。
- ・予防策の一つは、脳血管障害を防ぐ生活習慣を心がけること。

(2015年8月29日 日本経済新聞記事から抜粋)